



自動回線選択

この章では、Cisco Unified Communications Manager Express (Cisco Unified Cisco Mobility Express) の自動回線選択機能について説明します。



(注) この機能はSCCP 電話機にのみ適用されます。新しいユーザーインターフェイスを備えた新しい SIP 電話機 (Cisco Unified IP Phone 7800、8800 series) の場合、この機能は適用されません。ユーザーが回線を選択すると、選択した回線にフォーカスが置かれます。着信通話と発信通話の両方で、選択された回線または応答した回線に基づいてフォーカスが変わります。

- [自動回線選択について \(1 ページ\)](#)
- [自動回線選択の構成 \(2 ページ\)](#)
- [自動回線選択の設定例 \(5 ページ\)](#)
- [自動回線選択の機能情報 \(5 ページ\)](#)

自動回線選択について

着信コールと発信コールの自動回線選択

マルチライン IP Phone では、受話器を上げると、電話機で呼び出し中の最初の回線が自動的に選択されます。どの回線も呼び出し中でない場合は、アイドル状態で使用可能な最初の回線が発信コール用に選択されます。これは、すべての複数回線 IP Phone のデフォルトの動作です。

ただし、状況によっては、発信回線を選択したり、着信通話に応答したりするために、回線ボタンを明示的に押す必要がある場合があります。そのため Cisco CME 3.0 以降では、各 IP Phone で使用される回線のタイプを柔軟に割り当てられるようになっています。

自動回線選択機能では、電話機を受話器を上げたときに選択される回線を、電話機ごとに指定することができます。

個々の電話機に対して、次の動作を割り当てることが可能です。

- 自動回線選択：受話器を上げると、呼び出し中の最初の回線に应答します。どの回線も呼び出し中でない場合は、アイドル状態の最初の回線が選択されます。キーワードまたは引数がない **auto-line** コマンドを使用します。これはデフォルトです。
- 手動回線選択（自動回線選択なし）：[応答（Answer）]ソフトキーを押すと、呼び出し中の最初の回線に应答し、回線ボタンを押すと発信コール用の回線が選択されます。受話器を取り上げても、コールへの应答やダイヤル トーンの提供は行いません。 **no auto-line** コマンドを使用します。
- 着信コールのみ自動回線選択：受話器を上げると、呼び出し中の最初の回線に应答します。呼び出し中でない場合、発信コール用にアイドル状態の回線は選択されません。回線ボタンを押して、発信コールの回線を選択します。 **auto-line incoming** コマンドを使用します。
- 発信通話のみの自動回線選択 — 発信通話でハンドセットをあげると、*button-number* 引数に関連付けられている回線が選択されます。ボタン番号が指定されていても、（別の電話機で使用中の共有回線になっているために）そのボタンに関連付けられている回線が使用できない場合は、受話器を上げたときにダイヤル トーンは聞こえません。発信コールを行うには、使用可能な回線ボタンを押す必要があります。着信コールに应答するには、[応答（Answer）]ソフトキーを押すか、または呼び出し中の回線のボタンを押します。*button-number* 引数がある **auto-line** コマンドを使用します。
- 着信および発信コールの自動回線選択：[応答（Answer）]ソフトキーを押すか、または受話器を上げて、指定のボタンに関連付けられている回線の着信コールに应答します。発信コールに対して受話器を上げると、指定されたボタンに関連付けられている回線が選択されます。*button-number* 引数と **answer-incoming** キーワードがある **auto-line** コマンドを使用します。

自動回線選択の構成

自動回線選択の有効化

着信コールの应答、または発信コールの発信用に自動回線選択を有効にするには、次の手順を実行します。



制約事項

自動回線選択がトランク ディレクトリ番号用に設定され、[パーク（Park）]または[転送（Callfwd）]ソフトキーを押して回線を捕捉した場合、自動回線選択はバイパスされます。使用可能な最初のディレクトリ番号が捕捉されます。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**

3. `ephone phone-tag`
4. `auto-line [button-number [answer-incoming] | incoming]`
5. `end`

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： <pre>Router> enable</pre>	特権 EXEC モードを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： <pre>Router# configure terminal</pre>	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	ephone phone-tag 例： <pre>Router(config)# ephone 24</pre>	ephone コンフィギュレーション モードを開始します。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>phone-tag</i> — 自動回線選択を設定する電話機の一意的シーケンス番号。
ステップ 4	auto-line [button-number [answer-incoming] incoming] 例： <pre>Router(config-ephone)# auto-line 5 answer-incoming</pre>	この電話機に回線選択動作のタイプを割り当てます。 <ul style="list-style-type: none"> • auto-line : 受話器を上げると、呼び出し中の最初の回線に応答します。どの回線も呼び出し中でない場合は、アイドル状態の最初の回線が選択されます。これはデフォルトです。 • auto-line button-number — 発信通話に対して受話器を上げると、指定されたボタンに関連付けられている回線が選択されます。この引数を使用しなかった場合は、使用可能な回線の中で一番上にあるものがデフォルトで使用されます。 • auto-line button-numberanswer-incoming — 受話器を上げると、指定されたボタンに関連付けられた回線で、着信通話に応答します。 • auto-line incoming — 受話器を上げると、呼び出し中の最初の回線に応答します。呼び出し中でない場合、発信通話用にアイドル状態の回線は選択されません。回線ボタンを押して、発信コールの回線を選択します。 • no auto-line — 自動回線選択を無効にします。 [応答 (Answer)] ソフトキーを押すと、呼び出

	コマンドまたはアクション	目的
		し中の最初の回線に応答し、回線ボタンを押すと、発信コール用の回線を選択します。受話器を取り上げても、コールへの応答やダイヤルトーンの提供は行いません。
ステップ 5	end 例： Router(config-ephone)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

自動回線選択の確認

ステップ 1 **show running-config** コマンドを使用して構成を確認します。自動回線選択が、出力の **ephone** 部分にリストされます。

例：

```
Router# show running-config

ephone 2
headset auto-answer line 1
headset auto-answer line 4
ephone-template 1
mac-address 011F.9010.1790
paging-dn 48
type 7960
no dnd feature-ring
no auto-line
```

ステップ 2 **show telephony-service ephone** コマンドを使用すると、Ephone 構成情報のみを表示できます。

例：

```
Router# show telephony-service ephone

ephone 4
device-security-mode none
username "Accounting"
mac-address FF0E.4857.5E91
button 1c34,35
no auto-line
```

自動回線選択の設定例

自動回線選択の例

次の例では、電話機 1 および 2 に「自動回線選択なし」を割り当て、電話機 3 に「着信コールのみ自動回線選択」を割り当てます。

```
ephone 1
mac-address 00e0.8646.9242
button 1:1 2:4 3:16
no auto-line
!
ephone 2
mac-address 01c0.4612.7142
button 1:5 2:4 3:16
no auto-line
!
ephone 3
mac-address 10b8.8945.3251
button 1:6 2:4 3:16
auto-line incoming
```

次の例では、受話器を上げて着信コールに応答するとき、または発信コールを作成するとき、回線ボタン 1 の自動選択を有効にします。

```
ephone 1
mac-address 0001.0002.0003
type 7960
auto-line 1 answer-incoming
button 1:1 2:2 3:3
```

自動回線選択の機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレーンで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: 自動回線選択の機能情報

機能名	Cisco Unified Cisco Mobility Express のバージョン	機能情報
自動回線選択	4.0	answer-incoming キーワードを auto-line コマンドに追加しました。
	3.1	<i>button-number</i> 引数を auto-line コマンドに追加しました。
	3.0	自動回線選択が導入されました。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。